



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 AOI TYO Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3975 URL http://aoityo.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中江 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 譲原 理 (TEL) 03-5495-7575
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	29,025	19.1	1,686	—	1,668	—	891	—
2020年12月期第2四半期	24,367	△20.5	△881	—	△1,047	—	△956	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,072百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △1,133百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	37.96	37.88
2020年12月期第2四半期	△40.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	53,154	20,986	38.9
2020年12月期	48,682	20,231	40.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 20,683百万円 2020年12月期 19,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

2021年7月6日付で公表した「スタジオ・クルーズ株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び2021年7月30日付で公表した「株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関する臨時株主総会開催のお知らせ」に記載のとおり、当社は株式併合の手続きを経て、スタジオ・クルーズ株式会社の完全子会社となり、当社株式は上場廃止となる予定であることから、2021年12月期の連結業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	24,566,447株	2020年12月期	24,566,447株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,082,069株	2020年12月期	1,088,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	23,481,643株	2020年12月期2Q	23,459,787株

(注) 自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年12月期2Q: 405,500株、2020年12月期: 411,200株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年7月6日付で公表した「スタジオ・クルーズ株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び2021年7月30日付で公表した「株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関する臨時株主総会開催のお知らせ」に記載のとおり、当社は株式併合の手続きを経て、スタジオ・クルーズ株式会社の完全子会社となり、当社株式は上場廃止となる予定であることから、2021年12月期の連結業績予想は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(2) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間は新型コロナウイルス感染症の影響下で、中国などアジア向けの輸出増加傾向に加え、欧米向け輸出の持ち直しを受け、製造業の回復基調が持続しています。一方で、個人消費は新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言の再延長により一進一退の動きとなっています。

かかる中、当社グループでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上での業務運営が定常化し、業績面での影響を大きく受けることはなく、国内広告市場の緩やかな回復等に伴い、当期の案件受注高はコロナ前の水準に戻っています。併せて、中期経営計画に掲げたコスト削減施策にも前倒しで取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高29,025百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益1,686百万円（前年同四半期は営業損失881百万円）、経常利益1,668百万円（前年同四半期は経常損失1,047百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益891百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失956百万円）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額105百万円が含まれておりません。

当社グループは、「広告事業」の単一セグメントでありましたが、中期経営計画に基づき本年1月に連結子会社10社を削減する大規模な組織再編を実施し、報告セグメントを、広告会社からの受託を中心に従来からの広告映像制作を担う「コンテンツプロデュース事業」と、広告主からの直接取引を中心にコミュニケーションの設計から実行までを担う「コミュニケーションデザイン事業」の2区分に変更しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①コンテンツプロデュース事業

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高21,141百万円（前年同四半期比13.7%増）、セグメント利益2,607百万円（前年同四半期比211.5%増）となりました。

CM制作をはじめとする広告会社からの案件受注の回復、前年同四半期は新型コロナウイルスの影響による案件の延期・中止があったこと、コスト削減施策推進に伴う各種費用の減少等により、前年同四半期比増収増益となりました。

②コミュニケーションデザイン事業

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,883百万円（前年同四半期比36.4%増）、セグメント利益331百万円（前年同四半期はセグメント損失338百万円）となりました。

広告・マーケティングソリューション領域において、映像からデジタルソリューション、PR、イベント、空間デザイン等、全方位型のエキュゼキューションを提供するために、本年1月に5社を統合し株式会社xpdを設立、注力している直接取引において受注額が増加していることに加え、前年同四半期において延期・中止が顕著であったイベント事業もオンラインの活用等で需要を戻しつつあり、前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,472百万円増加し、53,154百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1,251百万円が減少しましたが、現金及び預金が5,787百万円、電子記録債権が484百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて3,716百万円増加し、32,168百万円となりました。主な要因は、長期借入金が1,784百万円、買掛金が1,330百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が6,500百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて755百万円増加し、20,986百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、配当金の支払いにより286百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により891百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて5,830百万円増加し、16,533百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,478百万円(前年同期は2,494百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,695百万円、売上債権の減少773百万円、仕入債務の減少1,341百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、591百万円(前年同期は365百万円の使用)となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出686百万円、資産除去債務の履行による支出219百万円であり、主な収入要因は、敷金及び保証金の回収による収入258百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、3,920百万円(前年同期は2,057百万円の獲得)となりました。主な収入要因は、短期借入金の増加6,500百万円であり、主な支出要因は、長期借入金の返済による支出2,195百万円、配当金の支払額280百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月6日付で公表した「スタジオ・クルーズ株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び2021年7月30日付で公表した「株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関する臨時株主総会開催のお知らせ」に記載のとおり、当社は株式併合の手続きを経て、スタジオ・クルーズ株式会社の完全子会社となり、当社株式は上場廃止となる予定であることから、2021年12月期の連結業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,813,819	16,601,084
受取手形及び売掛金	13,222,465	11,971,312
電子記録債権	3,562,775	4,047,647
商品及び製品	8,267	7,117
仕掛品	4,331,475	4,291,606
その他	1,108,034	900,373
貸倒引当金	△31,847	△19,484
流動資産合計	33,014,989	37,799,656
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,593,652	3,593,652
その他	2,663,808	3,107,714
有形固定資産合計	6,257,460	6,701,366
無形固定資産		
ソフトウェア	210,209	203,543
のれん	3,375,272	3,269,795
その他	15,994	23,716
無形固定資産合計	3,601,476	3,497,055
投資その他の資産		
投資有価証券	1,081,036	1,134,265
繰延税金資産	1,533,026	1,101,411
敷金及び保証金	1,661,033	1,425,264
その他	2,303,819	2,261,283
貸倒引当金	△770,326	△765,772
投資その他の資産合計	5,808,588	5,156,452
固定資産合計	15,667,526	15,354,874
資産合計	48,682,515	53,154,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,144,690	5,814,018
短期借入金	—	6,500,000
1年内返済予定の長期借入金	4,374,787	3,966,842
前受金	720,753	1,385,298
未払法人税等	172,515	418,591
賞与引当金	218,448	247,092
その他	2,112,543	1,943,926
流動負債合計	14,743,739	20,275,769
固定負債		
長期借入金	8,774,895	6,990,383
長期預り金	3,501,199	3,501,199
役員退職慰労引当金	259,435	259,435
役員株式給付引当金	247,750	237,406
退職給付に係る負債	343,303	353,102
資産除去債務	442,737	466,399
その他	138,037	84,317
固定負債合計	13,707,359	11,892,245
負債合計	28,451,099	32,168,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	12,111,198	12,101,233
利益剰余金	4,217,210	4,821,917
自己株式	△1,233,609	△1,222,772
株主資本合計	20,094,798	20,700,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△109,116	12,674
為替換算調整勘定	△59,597	△29,968
退職給付に係る調整累計額	△231	365
その他の包括利益累計額合計	△168,945	△16,928
新株予約権	42,855	12,046
非支配株主持分	262,707	291,019
純資産合計	20,231,415	20,986,515
負債純資産合計	48,682,515	53,154,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	24,367,278	29,025,206
売上原価	21,163,971	23,704,606
売上総利益	3,203,306	5,320,600
販売費及び一般管理費	4,084,431	3,633,643
営業利益又は営業損失(△)	△881,125	1,686,956
営業外収益		
受取利息	1,541	3,111
受取配当金	7,448	5,011
保険返戻金	32,971	55,917
その他	93,155	106,465
営業外収益合計	135,117	170,505
営業外費用		
支払利息	41,605	41,501
支払手数料	80,649	81,549
持分法による投資損失	90,577	15,557
その他	88,763	50,174
営業外費用合計	301,595	188,782
経常利益又は経常損失(△)	△1,047,603	1,668,679
特別利益		
固定資産売却益	6,038	930
新株予約権戻入益	864	25,670
その他	3	—
特別利益合計	6,905	26,601
特別損失		
減損損失	116,673	—
その他	4,496	—
特別損失合計	121,170	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,161,867	1,695,281
法人税、住民税及び事業税	126,735	394,594
法人税等調整額	△312,841	386,268
法人税等合計	△186,106	780,862
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△975,761	914,418
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,626	23,038
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△956,134	891,379

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△975,761	914,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,336	121,791
為替換算調整勘定	△43,387	35,141
退職給付に係る調整額	640	597
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,533	101
その他の包括利益合計	△157,617	157,630
四半期包括利益	△1,133,378	1,072,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,108,089	1,043,396
非支配株主に係る四半期包括利益	△25,289	28,652

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,161,867	1,695,281
減価償却費	398,219	327,846
減損損失	116,673	—
のれん償却額	169,174	105,477
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,967	△19,111
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,706	28,574
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,590	—
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△13,811	△10,343
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,380	9,795
受取利息及び受取配当金	△8,990	△8,122
保険返戻金	△22,737	△55,917
支払利息	41,605	41,501
支払手数料	80,649	81,549
持分法による投資損益(△は益)	90,577	15,557
売上債権の増減額(△は増加)	7,201,404	773,147
たな卸資産の増減額(△は増加)	162,236	50,571
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,624,825	△1,341,733
未払金の増減額(△は減少)	△283,270	219,687
未払消費税等の増減額(△は減少)	△297,112	3,009
前受金の増減額(△は減少)	810,368	662,286
その他の資産の増減額(△は増加)	49,496	80,549
その他の負債の増減額(△は減少)	△154,224	△210,891
その他	63,500	58,657
小計	2,627,595	2,507,371
利息及び配当金の受取額	8,990	8,422
保険金の受取額	5,070	938
利息の支払額	△39,140	△41,374
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△107,827	3,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,494,688	2,478,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△262,084	△686,180
有形固定資産の売却による収入	81,771	1,090
無形固定資産の取得による支出	△13,863	△82,654
投資有価証券の売却による収入	3	34,987
出資金の払込による支出	△155,407	△25,766
定期預金の預入による支出	△37,317	△43,358
定期預金の払戻による収入	4,617	91,862
敷金及び保証金の差入による支出	△46,263	△23,251
敷金及び保証金の回収による収入	32,072	258,933
資産除去債務の履行による支出	—	△219,334
保険積立金の払戻による収入	55,262	117,084
その他	△24,761	△14,877
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,972	△591,463

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,200,000	6,500,000
長期借入れによる収入	7,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,544,555	△2,195,412
配当金の支払額	△278,868	△280,353
自己株式の取得による支出	△394	△12,057
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10,843	—
手数料の支払額	△80,649	△81,549
その他	△27,182	△10,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,057,506	3,920,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,608	23,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,164,613	5,830,377
現金及び現金同等物の期首残高	9,060,407	10,703,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,225,021	16,533,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツプロデ ュース	コミュニケーショ ンデザイン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,586,561	5,780,716	24,367,278	—	24,367,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	684,547	145,109	829,657	△829,657	—
計	19,271,108	5,925,826	25,196,935	△829,657	24,367,278
セグメント利益又は損 失(△)	836,953	△338,829	498,124	△1,379,250	△881,125

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,379,250千円には、セグメント間取引消去49,155千円及び全社費用△1,428,405千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

コミュニケーションデザイン事業において、のれんの減損を行ったことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は116,673千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツプロデ ュース	コミュニケーショ ンデザイン	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,141,964	7,883,241	29,025,206	—	29,025,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	670,952	77,946	748,899	△748,899	—
計	21,812,917	7,961,188	29,774,105	△748,899	29,025,206
セグメント利益	2,607,337	331,630	2,938,967	△1,252,010	1,686,956

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,252,010千円には、セグメント間取引消去4,022千円及び全社費用△1,256,032千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループは、2021年1月4日付で当社の連結子会社である株式会社ティー・ワイ・オーの事業の一部を会社分割するとともに、同社及び株式会社デジタル・ガーデンを存続会社とする連結子会社間の吸収合併及び商号変更を行い、大幅な組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴い、従来の「広告事業」の単一セグメントから、報告セグメントを広告会社からの受託を中心に従来からの広告映像制作を担う「コンテンツプロデュース事業」、広告主からの直接取引を中心にコミュニケーションの設計から実行までを担う「コミュニケーションデザイン事業」の2区分に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式併合)

当社は、2021年7月30日開催の取締役会において、2021年9月7日開催予定の臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）にて、株式併合について付議する旨の決議をいたしました。

1. 株式併合の目的

2021年7月30日付の臨時報告書に記載のとおり、スタジオ・クルーズ株式会社（以下「公開買付者」といいます。）は、2021年5月17日から2021年7月5日までを公開買付けの買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）とする当社株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施しました。本公開買付けにより、当社株式の全て（ただし、当社が所有する自己株式を除きます。）を取得できなかったことから、当社は、公開買付者からの要請に基づき、当社の株主を公開買付者のみとする株式併合手続きを実施することといたしました。具体的には、本臨時株主総会において株主の皆様のご承認をいただくことを前提として、当社普通株式3,900,000株を1株に併合する株式併合（以下、「本株式併合」といいます。）を実施いたします。本株式併合により、公開買付者以外の株主の皆様が所有する普通株式の数は、1株に満たない端数となる予定です。

2. 株式の併合割合

当社普通株式3,900,000株を1株に併合いたします。

3. 効力発生後における発行済株式総数

6株

4. 効力発生日における発行可能株式総数

24株

5. 1株未満の端数が生じる場合の処理の方法並びに当該処理により株主に交付されることが見込まれる金銭の額

上記「1. 株式併合の目的」に記載のとおり、本株式併合により、公開買付者以外の株主の皆様が所有する当社株式の数は、1株に満たない端数となる予定であります。

本株式併合の結果生じる1株未満の端数については、その合計数（合計数に1株に満たない端数がある場合にあっては、当該端数は切り捨てられます。）に相当する数の株式を売却し、その売却により得られた代金を株主の皆様に対して、その端数に応じて交付いたします。当該売却について、当社は、会社法第235条第2項の準用する同法第234条第2項の規定に基づき、裁判所の許可を得て、当該端数の合計数に相当する当社株式を公開買付者に売却することを予定しております。

この場合の売却額は、上記裁判所の許可が予定どおり得られた場合には、株主の皆様が所有する当社株式の数に本公開買付けの価格と同額である900円を乗じた金額に相当する金銭が交付されるような価格に設定することを予定しております。

6. 株式併合の時期

- (1) 取締役会の決議 2021年7月30日
- (2) 臨時株主総会の開催日 2021年9月7日
- (3) 株式併合の効力発効日 2021年9月30日（予定）

7. 1株当たり情報に及ぼす影響

本株式併合が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における1株当たり情報は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)	△159,355,797円83銭	148,563,305円00銭

8. 上場廃止の予定

上記手続きが予定どおり行われた場合、当社株式は東京証券取引所市場第一部における上場廃止基準に該当することとなり、当社株式は2021年9月7日から2021年9月27日まで整理銘柄に指定された後、2021年9月28日に上場廃止となる予定です。

(自己株式の消却)

当社は、2021年7月30日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、当社が保有する自己株式を消却することを決議いたしました。

1. 自己株式の消却を行う理由

2021年5月17日付の意見表明報告書に記載のとおり、公開買付者は、当社の株主を公開買付者のみとすることを予定していることから、当社は、会社法第178条の規定に基づき、当社が保有する自己株式を消却することといたしました。

2. 消却に係る事項の内容

(1) 消却する株式の種類 当社普通株式

(2) 消却する株式の総数 1,082,069株 (2021年6月30日時点の自己株式676,569株及び2021年9月29日までに当社が無償取得する予定の当社の株式給付信託(BBT)の所有分である405,500株の合計)

(3) 消却日 2021年9月29日

(4) 消却方法 資本剰余金から減額

なお、当該自己株式の消却は、本臨時株主総会において本株式併合に関する議案が原案通り承認可決されること及び2021年9月29日までに当社が当社の株式給付信託(BBT)の所有する当社株式を無償取得することを条件としております。